

## LM・ユーロ 毎月分配型ファンド

### 運用報告書（全体版）

第202期	決算日	2019年6月18日
第203期	決算日	2019年7月18日
第204期	決算日	2019年8月19日
第205期	決算日	2019年9月18日
第206期	決算日	2019年10月18日
第207期	決算日	2019年11月18日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主としてユーロ建て債券に投資し、ユーロ短期金利を上回るインカムゲインを獲得することにより、ユーロ短期金利水準の分配を毎月行い、ユーロ原資産元本の安定した運用成果を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券および資産担保証券等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月18日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

### － 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「LM・ユーロ毎月分配型ファンド」は、2019年11月18日に第207期の決算を行いましたので、第202期、第203期、第204期、第205期、第206期、第207期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当報告書に関するお問い合わせ先：

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落					
	円	円	%	%	%	%	百万円		
178期(2017年6月19日)	6,349	20	0.2	98.5	△8.1		1,855		
179期(2017年7月18日)	6,580	20	4.0	88.6	△7.4		2,131		
180期(2017年8月18日)	6,520	20	△0.6	94.1	△30.4		2,927		
181期(2017年9月19日)	6,747	20	3.8	95.0	△40.7		3,255		
182期(2017年10月18日)	6,662	20	△1.0	71.3	△32.4		4,099		
183期(2017年11月20日)	6,622	20	△0.3	83.5	△41.2		5,561		
184期(2017年12月18日)	6,638	20	0.5	97.6	△60.8		5,926		
185期(2018年1月18日)	6,773	20	2.3	92.4	△60.2		6,122		
186期(2018年2月19日)	6,574	20	△2.6	95.9	△64.1		5,594		
187期(2018年3月19日)	6,438	20	△1.8	95.7	△64.1		5,514		
188期(2018年4月18日)	6,541	20	1.9	95.7	△64.2		5,623		
189期(2018年5月18日)	6,436	20	△1.3	95.6	△64.2		5,556		
190期(2018年6月18日)	6,263	20	△2.4	96.0	△61.3		5,401		
191期(2018年7月18日)	6,418	20	2.8	96.4	△54.7		5,624		
192期(2018年8月20日)	6,142	20	△4.0	97.1	△55.1		5,355		
193期(2018年9月18日)	6,320	20	3.2	96.6	△49.4		5,471		
194期(2018年10月18日)	6,250	20	△0.8	96.6	△50.8		5,279		
195期(2018年11月19日)	6,172	20	△0.9	97.7	△42.7		5,125		
196期(2018年12月18日)	6,105	20	△0.8	98.8	△47.6		4,982		
197期(2019年1月18日)	5,921	20	△2.7	95.8	△39.3		4,800		
198期(2019年2月18日)	5,930	20	0.5	96.4	△45.1		4,796		
199期(2019年3月18日)	5,983	20	1.2	97.8	△45.7		4,779		
200期(2019年4月18日)	5,975	20	0.2	95.4	△41.1		4,689		
201期(2019年5月20日)	5,784	20	△2.9	96.8	△41.8		4,488		
202期(2019年6月18日)	5,710	20	△0.9	97.2	△36.6		4,415		
203期(2019年7月18日)	5,659	20	△0.5	95.2	△33.7		4,342		
204期(2019年8月19日)	5,489	20	△2.7	97.0	△34.5		4,148		
205期(2019年9月18日)	5,551	20	1.5	96.5	△27.8		4,170		
206期(2019年10月18日)	5,599	5	1.0	97.1	△28.0		4,180		
207期(2019年11月18日)	5,563	5	△0.6	94.0	△28.3		4,103		

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
			円	%		
第202期	(期 首) 2019年5月20日	5,784	—	—	96.8	△41.8
	5月末	5,724	△1.0	—	96.7	△39.4
	(期 末) 2019年6月18日	5,730	△0.9	—	97.2	△36.6
第203期	(期 首) 2019年6月18日	5,710	—	—	97.2	△36.6
	6月末	5,740	0.5	—	97.4	△36.7
	(期 末) 2019年7月18日	5,679	△0.5	—	95.2	△33.7
第204期	(期 首) 2019年7月18日	5,659	—	—	95.2	△33.7
	7月末	5,662	0.1	—	95.9	△34.0
	(期 末) 2019年8月19日	5,509	△2.7	—	97.0	△34.5
第205期	(期 首) 2019年8月19日	5,489	—	—	97.0	△34.5
	8月末	5,471	△0.3	—	96.9	△31.7
	(期 末) 2019年9月18日	5,571	1.5	—	96.5	△27.8
第206期	(期 首) 2019年9月18日	5,551	—	—	96.5	△27.8
	9月末	5,469	△1.5	—	96.4	△27.8
	(期 末) 2019年10月18日	5,604	1.0	—	97.1	△28.0
第207期	(期 首) 2019年10月18日	5,599	—	—	97.1	△28.0
	10月末	5,623	0.4	—	97.5	△28.1
	(期 末) 2019年11月18日	5,568	△0.6	—	94.0	△28.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

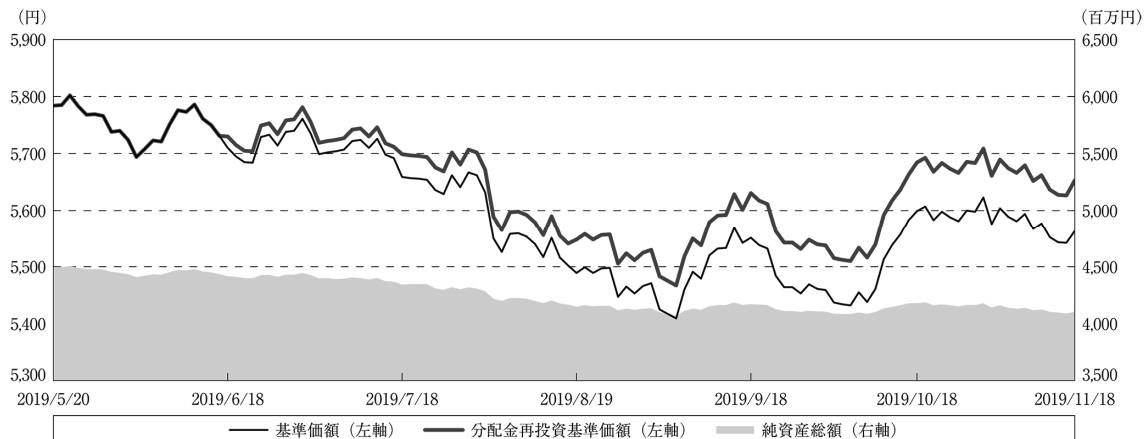
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2019年5月21日～2019年11月18日)



第202期首：5,784円

第207期末：5,563円 (既払分配金(税込み):90円)

騰落率：△ 2.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年5月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナスとなりました。  
ユーロ・円相場がユーロ安・円高となり、為替損益がマイナスとなりました。

当作成期の欧州債券市場は、長期債を中心に利回りが低下（価格は上昇）しました。

期の前半は、欧州経済の先行きに対する不透明感が広がったことから、利回りは低下しました。イタリアの財政問題を巡る不透明感が意識され、欧州域内で相対的に安全資産とされるドイツ国債が選好されたことも、利回りの低下を促す要因となりました。

期の半ばは、欧州中央銀行（ECB）による追加緩和期待が根強い中、利回りは低下しました。さらに、米中貿易摩擦の激化懸念を受けて投資家のリスク回避の動きが強まったことから、利回りの低下が進みました。しかしその後、ECBが追加緩和策を決定したものの、更なる緩和の余地が乏しいとの見方が広がったことなどから、利回りはやや上昇（価格は下落）しました。

期の後半は、米中の貿易協議に対する進展期待が高まり、リスク回避姿勢が和らいだことなどから、利回りは上昇しました。

欧州社債市場については、ドイツの株式相場が上昇したことなどを背景に、社債スプレッド（国債に対する上乗せ利回り）は縮小しました。

欧州資産担保証券（ABS）/モーゲージ証券（MBS）市場についても、MBSセクターを中心にスプレッドは縮小しました。

当作成期のユーロ・円相場は、ユーロ安・円高となりました。

期の前半は、小幅なレンジでの推移となる中、欧州経済の先行きに対する不透明感が広がったことや、イタリアの財政問題を巡る不透明感が意識されたことなどから、ユーロは対円で上値の重い展開となりました。

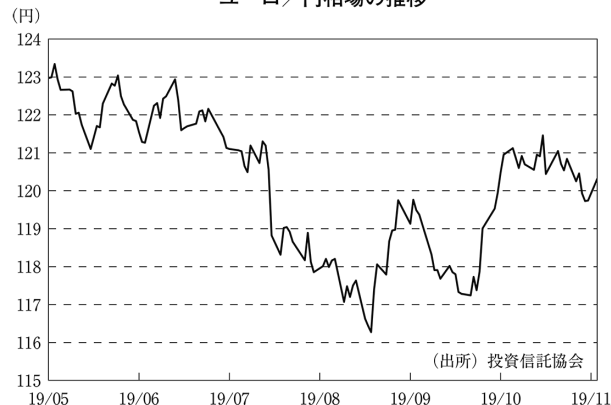
期の半ばは、米中貿易摩擦の激化懸念を背景にリスク回避姿勢が強まったことから、ユーロは対円で下落しました。さらに、ECBが大規模な金融緩和に踏み切るとの思惑が広がる中、ユーロ売り・円買いが強まりました。しかしその後、ECBが追加緩和策を決定したものの、更なる緩和の余地が乏しいとの見方が広がると、ユーロは買い戻されました。

期の後半は、欧州景気の後退懸念が意識される場面で、ユーロ売り・円買いが優勢となりましたが、その後は、米中の貿易協議に対する進展期待が高まり、リスク回避姿勢が和らいだことなどから、ユーロは対円で反発しました。

ドイツ10年国債利回りの推移



ユーロ／円相場の推移



当ファンドは、主に「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-/Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-/A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当作成期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

分配金

(2019年5月21日～2019年11月18日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第202期	第203期	第204期	第205期	第206期	第207期
	2019年5月21日～ 2019年6月18日	2019年6月19日～ 2019年7月18日	2019年7月19日～ 2019年8月19日	2019年8月20日～ 2019年9月18日	2019年9月19日～ 2019年10月18日	2019年10月19日～ 2019年11月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.349%	20 0.352%	20 0.363%	20 0.359%	5 0.089%	5 0.090%
当期の収益	3	4	3	5	5	3
当期の収益以外	16	15	16	14	—	1
翌期繰越分配対象額	789	773	757	742	743	742

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年5月21日～2019年11月18日)

項 目	第202期～第207期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 12	% 0.219	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 6 )	(0.098)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 6 )	(0.098)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.002	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
( 先 物 ・ オ プ シ ョ ン )	( 0 )	(0.002)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	1	0.026	(c)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 0 )	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 等 費 用 )	( 1 )	(0.013)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	13	0.247	
作成期間の平均基準価額は、5,614円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

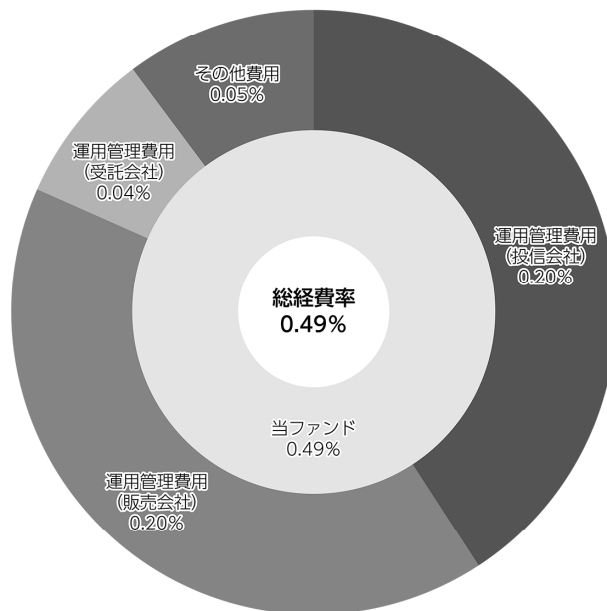
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.49%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2019年5月21日～2019年11月18日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第202期～第207期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド		26,488	35,031	258,066	340,272

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年5月21日～2019年11月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2019年5月21日～2019年11月18日)

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年5月21日～2019年11月18日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2019年11月18日現在)

### 親投資信託残高

銘	柄	第201期末	第207期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド		3,347,339	3,115,761	4,109,377

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年11月18日現在)

項 目	第207期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド	4,109,377	99.8
コール・ローン等、その他	8,073	0.2
投資信託財産総額	4,117,450	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(4,228,793千円)の投資信託財産総額(4,250,072千円)に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、11月18日における邦貨換算レートは、1ユーロ=120.31円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第202期末	第203期末	第204期末	第205期末	第206期末	第207期末
	2019年6月18日現在	2019年7月18日現在	2019年8月19日現在	2019年9月18日現在	2019年10月18日現在	2019年11月18日現在
	円	円	円	円	円	円
<b>(A) 資産</b>	<b>4,435,620,865</b>	<b>4,359,636,934</b>	<b>4,174,003,135</b>	<b>4,187,928,448</b>	<b>4,198,337,158</b>	<b>4,117,450,193</b>
LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド(評価額)	4,432,643,966	4,359,636,930	4,165,357,846	4,187,424,988	4,185,599,377	4,109,377,320
未収入金	2,976,899	4	8,645,289	503,460	12,737,781	8,072,873
<b>(B) 負債</b>	<b>20,108,589</b>	<b>17,048,002</b>	<b>25,513,971</b>	<b>17,137,182</b>	<b>18,104,392</b>	<b>13,467,292</b>
未払収益分配金	15,465,995	15,348,497	15,114,924	15,027,771	3,733,295	3,688,373
未払解約金	2,976,899	4	8,645,289	503,460	12,737,781	8,072,873
未払信託報酬	1,525,869	1,560,059	1,608,063	1,466,856	1,476,325	1,544,877
その他未払費用	139,826	139,442	145,695	139,095	156,991	161,169
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>4,415,512,276</b>	<b>4,342,588,932</b>	<b>4,148,489,164</b>	<b>4,170,791,266</b>	<b>4,180,232,766</b>	<b>4,103,982,901</b>
元本	7,732,997,729	7,674,248,735	7,557,462,481	7,513,885,806	7,466,591,923	7,376,746,705
次期繰越損益金	△3,317,485,453	△3,331,659,803	△3,408,973,317	△3,343,094,540	△3,286,359,157	△3,272,763,804
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>7,732,997,729口</b>	<b>7,674,248,735口</b>	<b>7,557,462,481口</b>	<b>7,513,885,806口</b>	<b>7,466,591,923口</b>	<b>7,376,746,705口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	5,710円	5,659円	5,489円	5,551円	5,599円	5,563円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額 7,760,528,401円

当作成期中追加設定元本額 62,165,125円

当作成期中一部解約元本額 445,946,821円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,272,763,804円であります。

## ○損益の状況

項 目	第202期	第203期	第204期	第205期	第206期	第207期
	2019年5月21日～ 2019年6月18日	2019年6月19日～ 2019年7月18日	2019年7月19日～ 2019年8月19日	2019年8月20日～ 2019年9月18日	2019年9月19日～ 2019年10月18日	2019年10月19日～ 2019年11月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 40,197,914	△ 22,331,158	△ 111,145,251	62,856,408	41,059,034	△ 20,555,764
売買益	121,375	119,730	607,559	66,302,380	47,385,632	152,133
売買損	△ 40,319,289	△ 22,450,888	△ 111,752,810	△ 3,445,972	△ 6,326,598	△ 20,707,897
(B) 信託報酬等	△ 1,665,695	△ 1,699,501	△ 1,753,758	△ 1,605,951	△ 1,633,316	△ 1,706,046
(C) 当期損益金(A+B)	△ 41,863,609	△ 24,030,659	△ 112,899,009	61,250,457	39,425,718	△ 22,261,810
(D) 前期繰越損益金	△ 704,705,565	△ 742,807,074	△ 757,105,494	△ 866,594,573	△ 803,177,705	△ 757,950,662
(E) 追加信託差損益金	△ 2,555,450,284	△ 2,549,473,573	△ 2,523,853,890	△ 2,522,722,653	△ 2,518,873,875	△ 2,488,862,959
(配当等相当額)	( 622,602,792)	( 605,561,679)	( 584,353,033)	( 568,949,810)	( 554,603,460)	( 547,932,635)
(売買損益相当額)	(△3,178,053,076)	(△3,155,035,252)	(△3,108,206,923)	(△3,091,672,463)	(△3,073,477,335)	(△3,036,795,594)
(F) 計(C+D+E)	△3,302,019,458	△3,316,311,306	△3,393,858,393	△3,328,066,769	△3,282,625,862	△3,269,075,431
(G) 収益分配金	△ 15,465,995	△ 15,348,497	△ 15,114,924	△ 15,027,771	△ 3,733,295	△ 3,688,373
次期繰越損益金(F+G)	△3,317,485,453	△3,331,659,803	△3,408,973,317	△3,343,094,540	△3,286,359,157	△3,272,763,804
追加信託差損益金	△ 2,567,858,147	△ 2,561,654,629	△ 2,535,960,546	△ 2,533,558,584	△ 2,518,873,875	△ 2,489,348,439
(配当等相当額)	( 610,197,662)	( 593,383,134)	( 572,249,539)	( 558,116,481)	( 554,606,186)	( 547,447,925)
(売買損益相当額)	(△3,178,055,809)	(△3,155,037,763)	(△3,108,210,085)	(△3,091,675,065)	(△3,073,480,061)	(△3,036,796,364)
分配準備積立金	-	-	-	-	402,964	-
繰越損益金	△ 749,627,306	△ 770,005,174	△ 873,012,771	△ 809,535,956	△ 767,888,246	△ 783,415,365

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第202期	第203期	第204期	第205期	第206期	第207期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	3,058,132	3,167,441	3,008,268	4,191,840	4,136,259	2,804,936
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	622,605,525	605,564,190	584,356,195	568,952,412	554,606,186	547,933,405
(D) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	397,957
分配対象収益額(A+B+C+D)	625,663,657	608,731,631	587,364,463	573,144,252	558,742,445	551,136,298
(1万円当たり収益分配対象額)	( 809)	( 793)	( 777)	( 762)	( 748)	( 747)
収 益 分 配 金	15,465,995	15,348,497	15,114,924	15,027,771	3,733,295	3,688,373
(1万円当たり収益分配金)	( 20)	( 20)	( 20)	( 20)	( 5)	( 5)

## ○分配金のお知らせ

	第202期	第203期	第204期	第205期	第206期	第207期
1 万口当たり分配金 (税込み)	20円	20円	20円	20円	5円	5円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## &lt;LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド&gt;

下記は、LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド全体(3,216,292千口)の内容です。

### 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第207期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	600	613	73,846	1.7	—	—	1.7	—
イタリア	1,090	1,127	135,626	3.2	—	—	—	3.2
フランス	1,410	1,807	217,516	5.1	—	—	—	5.1
オランダ	3,160	3,185	383,223	9.0	—	—	2.0	7.0
ベルギー	1,600	1,637	196,996	4.6	—	—	2.3	2.4
ルクセンブルク	570	570	68,613	1.6	—	—	—	1.6
フィンランド	1,240	1,272	153,154	3.6	—	—	—	3.6
その他	22,580	22,883	2,753,160	64.9	—	—	4.7	60.2
合 計	32,250	33,098	3,982,138	93.9	—	—	10.7	83.1

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄		柄	第207期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	普通社債券 (含む投資法人債券)	VOLKSWAGEN BANK GMBH FRN	1.069	600	613	73,846	2022/8/1
イタリア	普通社債券 (含む投資法人債券)	INTESA SANPAOLO SPA	2.0	550	566	68,184	2021/6/18
		UNICREDIT SPA	3.25	540	560	67,442	2021/1/14
フランス	普通社債券 (含む投資法人債券)	CREDIT AGRICOLE SA	—	1,000	1,396	168,008	2020/2/2
		RCI BANQUE SA FRN	0.232	410	411	49,507	2021/4/12
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	ABN AMRO BANK NV FRN	—	1,200	1,203	144,815	2021/1/15
		BAYER CAPITAL CORP B FRN	0.147	700	701	84,437	2022/6/26
		ING BANK NV	1.25	500	500	60,221	2019/12/13
		SHELL INTL FIN	1.625	760	779	93,749	2021/3/24
ベルギー	普通社債券 (含む投資法人債券)	ANHEUSER-BUSCH	1.95	800	831	100,080	2021/9/30
		KBC GROUP NV FRN	0.132	800	805	96,915	2022/11/24
ルクセンブルク	普通社債券 (含む投資法人債券)	ALLERGAN FUNDING SCS FRN	—	570	570	68,613	2020/11/15
フィンランド	普通社債券 (含む投資法人債券)	NORDEA BANK ABP	4.0	1,240	1,272	153,154	2020/6/29
その他	普通社債券 (含む投資法人債券)	ASB FINANCE LTD	0.5	1,300	1,305	157,066	2020/6/17
		BANK OF AMERICA CORP	1.375	1,400	1,437	172,991	2021/9/10
		BERKSHIRE HATHAWAY	0.5	1,520	1,522	183,214	2020/3/13
		BP CAPITAL MARKETS PLC	2.177	800	834	100,430	2021/9/28
		DANSKE BANK A/S	0.75	1,500	1,506	181,194	2020/5/4
		DNB NOR BANK	3.875	1,300	1,332	160,369	2020/6/29
		EXPORT-IMPORT BK KOREA	2.0	800	807	97,178	2020/4/30
		GOLDMAN SACHS GROUP FRN	0.596	900	911	109,676	2021/7/27
		LLOYDS TSB BANK	6.5	1,400	1,431	172,171	2020/3/24
		MORGAN STANLEY	2.375	800	827	99,515	2021/3/31
		NATIONAL AUSTRALIA B FRN	0.16	770	775	93,262	2021/4/19
		NATIONAL AUSTRALIA BANK	2.0	700	715	86,108	2020/11/12
		NATWEST MARKETS PLC FRN	—	500	500	60,206	2020/6/8
		NYKREDIT FRN	0.142	660	659	79,356	2022/6/2
		NYKREDIT REALKREDIT AS	0.375	970	972	117,019	2020/6/16
		ROLLS-ROYCE PLC	2.125	740	764	91,920	2021/6/18
		SANTANDER CONSUMER BANK	0.375	1,000	1,001	120,503	2020/2/17
		SKANDINAVISKA ENSKIL FRN	0.182	1,000	1,002	120,644	2020/5/26
		SKY LTD	1.5	760	782	94,126	2021/9/15
		SPAREBANK 1 SMN FRN	0.1	770	772	92,915	2020/11/9
SPAREBANK 1 SR BANK	2.125	1,200	1,205	145,070	2020/2/3		
UBS AG LONDON	1.25	790	810	97,494	2021/9/3		
WELLS FARGO & CO FRN	0.095	1,000	1,003	120,722	2022/1/31		
合	計					3,982,138	

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄 別			第207期末	
			買 建 額	売 建 額
外国	債券先物取引	ドイツ国債(2年)2019.12限月	百万円 -	百万円 1,199

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 単位未満は切捨て。

# LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド

## 運用状況のご報告

第17期 決算日 2019年2月18日

(計算期間：2018年2月20日～2019年2月18日)

### － 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ユーロ短期投資適格債マザーファンド」の第17期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	<p>1. 主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指します。</p> <p>2. 原則として、投資を行う公社債はBBB-／Baa3格以上の格付けを有するものとし、又、コマーシャル・ペーパー、譲渡性預金等については、A2／P2格以上の格付けを有するものとします。</p>
主 要 運 用 対 象	国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等
組 入 制 限	外貨建資産への投資には制限を設けません。



## ○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
13期(2015年2月18日)	14,817	△ 2.2		88.6	△ 6.3	3,583
14期(2016年2月18日)	13,852	△ 6.5		94.3	△ 4.4	2,906
15期(2017年2月20日)	13,133	△ 5.2		97.1	△ 3.7	2,170
16期(2018年2月19日)	14,491	10.3		95.6	△63.9	5,782
17期(2019年2月18日)	13,647	△ 5.8		96.0	△44.9	4,947

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注2) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		債組入比率	債券先物比率
		騰落	率		
(期首) 2018年2月19日	円		%	%	%
	14,491	—		95.6	△63.9
2月末	14,400	△0.6		95.4	△63.7
3月末	14,281	△1.4		95.7	△64.2
4月末	14,496	0.0		95.8	△64.2
5月末	13,846	△4.5		96.0	△64.7
6月末	13,975	△3.6		96.2	△60.5
7月末	14,209	△1.9		96.1	△54.5
8月末	14,168	△2.2		97.0	△52.5
9月末	14,457	△0.2		98.0	△50.1
10月末	14,039	△3.1		97.1	△48.0
11月末	14,085	△2.8		97.4	△46.9
12月末	13,837	△4.5		93.8	△40.9
2019年1月末	13,650	△5.8		95.9	△44.9
(期末) 2019年2月18日	13,647	△5.8		96.0	△44.9

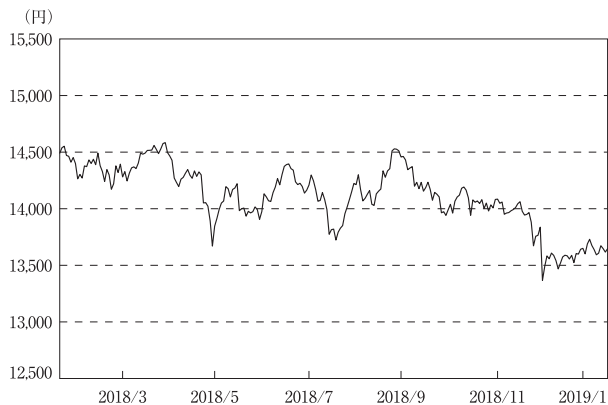
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2018年2月20日～2019年2月18日)



### ○基準価額の主な変動要因

当期のパフォーマンス(騰落率)はマイナスとなりました。公社債利金を手堅く確保しましたが、ユーロ・円相場がユーロ安・円高となったことから、為替損益がマイナスとなりました。

当期の欧州債券市場は、中長期債を中心に利回りが低下（価格は上昇）しました。期の前半は、欧州の経済指標が総じて軟調となったことや、欧州中央銀行（ECB）総裁が物価見通しに慎重な姿勢を示したことなどを受け、利回りは低下しました。さらに、イタリア政局の混乱を受けて欧州の政治リスクが意識されたことから、欧州域内で安全資産とされるドイツ国債を選好する動きが強まり、利回りは一段と低下しました。期の半ばは、日銀による金融緩和策修正の思惑から債券利回りが世界的に上昇（価格は下落）する場面で、ドイツの国債利回りも上昇しました。その後、利回りは低下する場面も見られましたが、米回国債利回りが大きく上昇した影響で、ドイツの国債利回りにも上昇圧力が加わりました。期の後半は、米国株式相場の急落をきっかけに世界的な株安となったことから、利回りは低下しました。その後も、イタリアの財政問題を巡る不透明感などが意識されたことや、欧州経済の先行き懸念が広がったことなどから、利回りは低下傾向となりました。

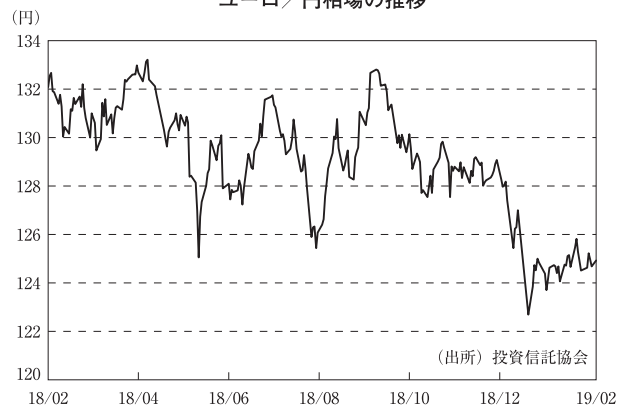
社債セクターについては、欧州経済の減速懸念等を背景に株式相場が軟調となったことが主に影響し、社債スプレッド（国債に対する上乗せ利回り）は拡大しました。資産担保証券（ABS）／モーゲージ証券（MBS）市場については、MBSセクターを中心にスプレッドが拡大しました。

当期のユーロ・円相場は、ユーロ安・円高となりました。期の前半は、ECBによる金融政策の正常化には時間がかかるとの見方が広がったことなどから、ユーロは対円で下落しました。イタリア政局の混乱を受けて、欧州の政治リスクが意識されたことも、ユーロ売り・円買いを促す要因となりました。期の半ばは、方向感の定まらない展開となりました。トルコ情勢の悪化を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどは、ユーロ売り・円買い要因となりました。一方、ドイツを中心に欧州景気の拡大観測が強まる場面では、ユーロ買い・円売りが優勢となりました。期の後半は、

ドイツ10年国債利回りの推移



ユーロ／円相場の推移



米国株式相場の急落をきっかけとした世界的な株安を受けて、リスク回避姿勢が強まったことから、ユーロは対円で下落しました。その後、当期末にかけては、株式相場が持ち直したことから、ユーロは下げ止まりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として、ユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、ユーロ短期金利水準に連動した安定的収益の確保を目指した運用に努めてまいりました。また、原則としてBBB-/Baa3格以上の格付けの公社債へ投資し、ファンドに組入れる債券の平均格付をA-/A3格以上に保ち信用リスクの抑制を図る等、安定的な運用を目指しております。当ファンドの基準価額は、組入債券がユーロ建てで為替ヘッジを行わないため、ユーロ・円相場の変動の影響をそのまま反映しますが、ユーロベースの原資産は金利リスク（債券利回りの変動の影響を受けて、債券価格が変動するリスク）の低減に努め、安定性を重視した運用を行っております。当期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

## ○今後の運用方針

当ファンドは、主としてユーロ建ての欧州の国債、政府機関債、国際機関債、事業債、金融債、モーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスクに配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年2月20日～2019年2月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 1 (1)	% 0.005 (0.005)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	2 (2)	0.011 (0.011)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	3	0.016	
期中の平均基準価額は、14,120円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年2月20日～2019年2月18日)

### 公社債

			買 付 額	売 付 額
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ
外 国	ドイツ	社債券(投資法人債券を含む)	600	—
	イタリア	社債券(投資法人債券を含む)	409	—
	フランス	社債券(投資法人債券を含む)	—	710
	オランダ	社債券(投資法人債券を含む)	1,902	1,508
	ベルギー	社債券(投資法人債券を含む)	837	—
	ルクセンブルク	社債券(投資法人債券を含む)	1,600	1,208
	フィンランド	社債券(投資法人債券を含む)	—	1,190
	その他	社債券(投資法人債券を含む)	5,626	7,682 (1,800)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## 先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外国	債券先物取引	百万円 —	百万円 —	百万円 13,188	百万円 14,522

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## オプションの種類別取引状況

種 類 別		コール・ プット別	買 建				売 建				
			新 規 買 付 額	決 済 額	権 行	利 使	権 放	利 棄	新 規 売 付 額	決 済 額	権 被 行 使
外国	債券オプション取引	コール プット	百万円 — —	百万円 — —	百万円 — —	百万円 — —	百万円 — —	百万円 0.082843 0.424923	百万円 0.018502 0.427417	百万円 — —	百万円 — —

(注1) 単位未満は切捨て。ただし、金額が単位未満の場合は小数で記載。

(注2) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年2月20日～2019年2月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

# ○組入資産の明細

(2019年2月18日現在)

## 外国公社債

### (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	600	605	75,676	1.5	—	—	1.5	—
イタリア	400	414	51,782	1.0	—	—	0.5	0.5
フランス	1,600	2,065	258,057	5.2	—	—	1.0	4.2
オランダ	5,400	5,417	676,773	13.7	—	—	1.8	11.9
ベルギー	1,600	1,630	203,685	4.1	—	—	4.1	—
ルクセンブルク	390	388	48,514	1.0	—	—	—	1.0
フィンランド	1,380	1,456	181,904	3.7	—	—	—	3.7
その他	25,520	26,036	3,252,762	65.7	—	—	22.3	43.5
合 計	36,890	38,014	4,749,157	96.0	—	—	31.2	64.8

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当期				償還年月日
		利率	額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	普通社債券 (含む投資法人債券) VOLKSWAGEN BANK GMBH FRN	1.164	600	605	75,676	2022/8/1
イタリア	普通社債券 (含む投資法人債券) INTESA SANPAOLO SPA	2.0	200	205	25,626	2021/6/18
	UNICREDIT SPA	3.25	200	209	26,156	2021/1/14
フランス	普通社債券 (含む投資法人債券) CREDIT AGRICOLE SA	—	1,190	1,658	207,211	2020/2/2
	RCI BANQUE SA FRN	0.342	410	406	50,846	2021/4/12
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券) ABN AMRO BANK NV FRN	0.092	1,200	1,204	150,502	2021/1/15
	BAYER CAPITAL CORP B FRN	0.24	700	699	87,362	2022/6/26
	DAIMLER FINANCE FRN	0.292	1,500	1,504	187,932	2019/11/13
	ING BANK NV	1.25	500	505	63,192	2019/12/13
	SHELL INTL FIN FRN	0.089	1,500	1,503	187,782	2019/9/15
ベルギー	普通社債券 (含む投資法人債券) ANHEUSER-BUSCH	1.95	800	837	104,573	2021/9/30
	KBC GROUP NV FRN	0.234	800	793	99,112	2022/11/24
ルクセンブルク	普通社債券 (含む投資法人債券) ALLERGAN FUNDING SCS FRN	0.042	390	388	48,514	2020/11/15
フィンランド	普通社債券 (含む投資法人債券) NORDEA BANK ABP	4.0	1,380	1,456	181,904	2020/6/29
その他	普通社債券 (含む投資法人債券) ASB FINANCE LTD	0.5	1,540	1,547	193,327	2020/6/17
	AUST & NZ BANKING GROUP	5.125	1,600	1,643	205,382	2019/9/10
	BANK OF AMERICA CORP	1.375	1,400	1,443	180,287	2021/9/10
	BERKSHIRE HATHAWAY	0.5	1,520	1,529	191,086	2020/3/13
	BP CAPITAL MARKETS PLC	2.177	800	844	105,474	2021/9/28
	DANSKE BANK A/S	0.75	1,500	1,508	188,485	2020/5/4
	DNB NOR BANK	3.875	1,430	1,505	188,125	2020/6/29
	EXPORT-IMPORT BK KOREA	2.0	800	818	102,276	2020/4/30
	GOLDMAN SACHS GROUP FRN	0.694	900	906	113,300	2021/7/27
	LLOYDS TSB BANK	6.5	1,400	1,485	185,632	2020/3/24
	MORGAN STANLEY	2.375	800	837	104,650	2021/3/31
	NATIONAL AUSTRALIA B FRN	0.262	770	775	96,864	2021/4/19
	NATIONAL AUSTRALIA BANK	2.0	700	724	90,482	2020/11/12
	NATWEST MARKETS PLC FRN	0.115	500	498	62,281	2020/6/8
	NYKREDIT FRN	0.254	660	643	80,441	2022/6/2
	NYKREDIT REALKREDIT AS	0.375	970	969	121,174	2020/6/16
	ROLLS-ROYCE PLC	2.125	740	774	96,730	2021/6/18
	SANTANDER CONSUMER BANK	0.375	1,600	1,605	200,555	2020/2/17
	SKANDINAVISKA ENSKIL FRN	0.284	1,000	1,006	125,720	2020/5/26
	SKY LTD	1.5	760	781	97,654	2021/9/15
SPAREBANK 1 SMN FRN	0.192	770	771	96,441	2020/11/9	
SPAREBANK 1 SR BANK	2.125	1,570	1,602	200,176	2020/2/3	
UBS AG LONDON	1.25	790	811	101,380	2021/9/3	
WELLS FARGO & CO FRN	0.194	1,000	999	124,828	2022/1/31	
合	計				4,749,157	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。



## 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当 期	
			買 建 額	売 建 額
外国	債券先物取引	ドイツ国債(2年)2019.3限月	百万円 -	百万円 2,222

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年2月18日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	4,749,157	96.0
コール・ローン等、その他	199,358	4.0
投資信託財産総額	4,948,515	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(4,898,805千円)の投資信託財産総額(4,948,515千円)に対する比率は99.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2月18日における邦貨換算レートは、1ユーロ=124.93円です。

## ○特定資産の価格等の調査

(2018年2月20日～2019年2月18日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年2月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,948,515,500
コール・ローン等	139,378,432
公社債(評価額)	4,749,157,256
未収入金	912,614
未収利息	30,997,721
前払費用	6,139,839
差入委託証拠金	21,929,638
(B) 負債	904,634
未払解約金	904,489
未払利息	145
(C) 純資産総額(A-B)	4,947,610,866
元本	3,625,294,273
次期繰越損益金	1,322,316,593
(D) 受益権総口数	3,625,294,273口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,647円

<注記事項>

(注1) 元本の状況	
期首元本額	3,990,277,534円
期中追加設定元本額	633,263,534円
期中一部解約元本額	998,246,795円
(注2) 期末における元本の内訳	
LM・ユーロ毎月分配型ファンド	3,527,794,312円
LM・ユーロ短期債ファンドVA (適格機関投資家専用)	97,499,961円

○損益の状況 (2018年2月20日～2019年2月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	76,353,020
受取利息	76,407,622
支払利息	△ 54,602
(B) 有価証券売買損益	△ 380,211,589
売買益	3,817,237
売買損	△ 384,028,826
(C) 先物取引等取引損益	△ 13,456,467
取引益	1,807,356
取引損	△ 15,263,823
(D) 保管費用等	△ 621,536
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 317,936,572
(F) 前期繰越損益金	1,791,879,760
(G) 追加信託差損益金	264,342,846
(H) 解約差損益金	△ 415,969,441
(I) 計(E+F+G+H)	1,322,316,593
次期繰越損益金(I)	1,322,316,593

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。